

## すぎなみ彩楽ウインドシンフォニー新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

2020年9月12日 策定

### 1. はじめに

昨今の新型コロナウイルス感染症の流行を受け、私たちすぎなみ彩楽ウインドシンフォニーは、「すぎなみ彩楽ウインドシンフォニー新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を策定し、団員とお客様双方が安心して吹奏楽を楽しむことができるようにするためのルール、マナーを明文化することにしました。このガイドラインは、国、地方公共団体及び全日本吹奏楽連盟のガイドライン等を参考に作られています。

### 2. お客様に協力していただきたいこと

- 1 ご来場前に検温をお願いします。体温が 37.5 度以上の発熱がある場合や体調の優れない場合は、演奏会へのご来場はお控えください。
- 2 ご来場の際はマスク着用していただき、会場内でもマスクの着用をお願いします。
- 3 手洗い、手指消毒をこまめに行ってください。手指消毒用備品を受付等に配置いたします。
- 4 密になることを防ぐために、開場時間前にご来館することはお控えください。
- 5 お客様同士の間隔を保つために、使用する客席の間隔を調整いたします。当日配布する座席番号にお座りください。
- 6 出演者への花束、差し入れ等のご遠慮ください。また出待ちや出演者との写真撮影等もご遠慮願います。
- 7 お客様の入退場時間や休憩時間は、十分に確保いたしますので、トイレ等が混雑している場合は、一度時間を置いてから再度空いたときに利用する等の対応をお願いいたします。
- 8 会場内では、「3密」を避けるようにご協力をお願いいたします。もし列に並ぶようなことがある場合、前のお客様と1m以上間隔をあけるようお願いいたします。
- 9 感染症対策について、当日会場内のお客様にアナウンスいたしますので、ご協力ください。
- 10 演奏会中に体調が優れなくなったお客様は、お近くのスタッフに速やかにお知らせください。別室にご案内し、必要に応じて、医療機関及び保健所への連絡、非接触型体温計による検温等の対応をとらせていただきます。
- 11 万が一会場内で感染者が発生した場合に保健所等に速やかに連絡をできるようにするため、お客様からお預かりしております氏名・緊急連絡先等の情報の提供をする場合がございます。お客様の個人情報、厳重に保管の上、保健所等への連絡以外の目的での利用は一切せず、一定期間経過後確実に廃棄いたしますので、ご協力ください。

### 3. 私たち楽団員が守るべきこと

#### (1) 演奏会に向けて練習を行う日

- 1 楽団員の体調管理を徹底する。体温が 37.5℃以上の発熱、倦怠感、体調不良がある場合、参加を差し控える。
  - 2 練習参加者を事前に把握するよう努め、練習室の収容人数に合わせて適宜、人数調整を行う。
  - 3 練習会場までの往復路及び練習会場到着後、練習室における演奏時以外の時間におけるマスク着用を徹底する。
  - 4 練習室に当楽団所有の手指消毒用備品を持参し、練習会場入退場時の手指消毒を徹底する。
  - 5 練習室内における奏者の着席位置の間隔を調整し、「3密」を避ける。
  - 6 休憩をこまめにとり、1時間に2回程度を目安とした十分な換気を行う。
  - 7 休憩時の飲食は、密な状態が生じないように、お互いの距離を保って行う。
  - 8 楽器類その他備品の共用を原則として控える。ただし、やむを得ず共用が必要な場合、使用前と使用後にアルコールティッシュ等で接触部分をふき取るなど、消毒作業を行う。
  - 9 椅子、扉、手すり、テーブル等、不特定多数の人が触る箇所は、活動開始時と終了時に消毒を行う。
  - 10 金管楽器のマウスピースでの練習は飛沫が拡散するため、他の団員から隔離された場所で行う。
  - 11 木管楽器の唾抜きについては、スワブを頻繁に通し、床に唾が垂れないように配慮する。
  - 12 金管楽器の水抜きは飛散防止のため、低い位置でタオルなどにしみこませる。
- ※楽器からぼたぼた落ちる場合→避けることが望ましいが、楽器によっては難しいため、休憩中や練習後に自分の周りの床(1～2m 範囲)をアルコール等消毒効果のあるもので掃除する。

## (2) 演奏会の本番当日

- 1 本番当日に各自検温をする。体温が 37.5℃以上の発熱、倦怠感、体調不良がある場合、出演を差し控える。
- 2 演奏会会場までの往復路及び演奏会会場到着後、演奏時以外の時間におけるマスク着用を徹底する。
- 3 お客様と対面するスタッフに対し、マスクのほか、必要に応じて、手袋、フェイスシールド等の着用を義務付ける。
- 4 演奏会会場を出入りする際及びステージ入退場時の手指消毒を徹底するとともに、必要に応じて、靴裏消毒等を実施する。
- 5 出演者の人数調整を適宜行い、ステージ上の着席位置の間隔を調整する。
- 6 会場内において「3密」を避けることを徹底する。
- 7 楽器類その他備品の共用を原則として控える。ただし、やむを得ず共用が必要な場合、使用前、使用後にアルコールティッシュで接触部分をふき取るなど、消毒作業を行う。

以上